

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
人間科学部人間心理学科	伊藤創	GLS105-501	日本事情	本講義では、政治、社会、文化、歴史、宗教、生活習慣、社会問題など様々な側面から、日本を捉えることによって、日本への理解を深めることを目的とする。また、その過程で、今後、日本が、あるいは世界がどのような方向に進んでいくべきかを議論し、論理的かつ柔軟な思考を養う。本授業は、英語と日本語の両方で行う。また時事的な問題を取り込むこと、また留学生の国籍や人数によって、比較すべき項目を柔軟にシフトしながら授業で扱う項目を変更しつつ行っていくので、本シラバスに記載されていない日本の側面を扱うこともある。	2
	梶正義	SED202-501	知的障害者の自立活動の理論と実際	知的障害のある幼児児童生徒が、自立と社会参加を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善しようとする力を身につけるための中心的な教育活動が「自立活動」である。この講義では、特別支援教育の中核的領域であるこの自立活動について、具体的な内容と方法を学ぶとともに、個別の指導計画の作成と活用について学ぶ。	2
		SED203-001	知的障害教育総論	知的障害児の教育は、特別支援学校および小中学校の特別支援学級などで行われ、その際さまざまな指導内容・方法・指導形態で行われている。本講義では、知的障害の概念、定義、歴史などをまず解説する。そして、知的障害児の教育について、学習指導要領や教育課程の編成に基づいた教科別・領域別の指導および領域・教科を合わせた指導（日常生活の指導、生活単元学習、作業学習、遊びの指導）などを概説する。また、指導・支援の核となる自立活動の考え方や個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成についても説明する。毎回、前回の講義の復習を行う。また、次回の講義内容を予告し、そのキーワードを示す。	2
		SED207-501	重複障害・LD等教育総論	この科目では、「特殊教育」から「特別支援教育」への転換について概観するとともに、LD、ADHD、高機能自閉症等の発達障害のある幼児児童生徒の特徴と障害による学習上又は生活上の困難、具体的な指導や支援の在り方について学ぶ。また、重複障害・重度重複障害の概念とその生理学的背景、病理、心理、教育について学び、その後重複障害のある幼児児童生徒の具体的な実態把握の方法と様々な指導・支援の方法について学ぶ。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
人間科学部人間心理学科	栢木隆太郎	SED310-001	知的障害者の心理	<p>特別支援教育においては、その教育内容の推進と充実が強く求められている。そのためには、知的障害者の心理を理解することが最も基本といえる。この科目は、知的障害者や発達障害者に関わる心理学的基礎知識を理解することが主な目的である。</p> <p>具体的には、幾つかの事例からその発達特性や認知特性および行動特徴を理解し、知的障害者や発達障害者の示すさまざまな行動を心理学的な視点から捉え、その教育的支援の在り方を学ぶ。</p>	2
		SED312-001	知的障害教育Ⅰ	<p>知的障害のある子どもの示すさまざまな学習上の困難や行動上の問題などを応用行動分析の視点からとらえ、さまざまな技法を適用した望ましい教育的支援の在り方を理解する。</p> <p>具体的には、なぜ子どもがそのように行動するのかを環境との相互作用から捉え、どのように観察し、どのようにアセスメントし、どのように指導していくのかを学ぶ。</p> <p>なお、この授業の内容は、秋学期に開講される「知的障害教育Ⅱ」に引き継がれる。そこでは、子どもの学習指導プログラム、あるいは、個別の指導計画の作成などへと発展させる。</p>	2
		SED313-501	知的障害教育Ⅱ	<p>特別支援教育においては「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の作成が必須の条件となっている。このことから、本科目では、以下の内容を中心に学修する。</p> <p>①「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成例の紹介 ②米国におけるIEP(個別の教育計画)の紹介と我が国との比較 ③指導プログラム作成の基本的な考え方と作成例および実践例の紹介 ④ " " 作成(グループ又は個人) ⑤作成した指導プログラムの発表と意見交換</p> <p>これらの学修によって知的障害教育における基本的な指導技法に関する知識と技能を身につけ、子ども一人一人への具体的な教育的支援の方策を考える。</p>	2
	栢木隆太郎、梶正義	SED315-501	教育実習(特別支援学校)	<p>・教育実習は、教員免許取得に必須であり、教師としての指導力を高めることを目的としている。</p> <p>・実習事前指導では、教育実習の意義・目的、教育指導上の基本事項および特別支援学校教育の概略について講義を行う。また、児童生徒の観察と行動記録の取り方を理解する。</p> <p>・事前指導の後、実習校において実習を行う。</p> <p>・実習後には、次のような事後指導を行う。各自で実習報告を行い、受講者全員で討議を行う。なお、実習中での授業場面の録画記録がある場合は、その分析も行う。そして、本授業の総括として、特別支援学校における様々な教育課題とその現状について確認する。</p>	3

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
人間科学部人間心理学科	山本昌宏	CRI101-501	犯罪学概論	社会の多方面で発生している各種犯罪の発生原因や形態を知るとともに、安心安全な社会づくりのために、警察が地域住民や行政機関等と一体となって取り組んでいる諸活動について学び、社会に貢献できる人間を育成する。	2
		CRI304-001	犯罪関連法論	刑法総論及び刑事手続きについて講義し、時々発生する犯罪事例を取り上げるなどして、刑法総論と各論等の関係を解説し、刑罰法規に対する理解を深める、	4
	村田昌彦	GLB302-501	国際防災協力	大災害発生時には、海外からの被災地支援が必要となる。 本授業では、国際的な災害支援の枠組みやシステム、さらに、わが国の具体的な国際支援や受援の実績などについて、実際に国際防災協力関係の仕事を行っている実務家を授業に呼び、実体験に基づく話を聞き、国際防災協力について体系的に学ぶ。	2
		REG306-501	防災教育	【本授業では、企業防災を行うための防災教育を主眼とする】 大災害において企業に対する被害を最小限にとどめ、企業活動を迅速に再開し、企業を存続させるために必用となる、災害への備え、災害後の対応についての知識や対処法を、過去の災害における企業対応の成功・失敗事例などから学ぶ。	2
	村田昌彦、川脇康生、田中綾子、林万平	REG401-001	復興論	大災害は、被災地の将来にとって、より強靱でしなやかな地域に再生していく一つの機会となる。このことから、阪神・淡路大震災で目指した創造的復興や、東日本大震災の復興を進めている日本の復興体制、さらに国際的にハイライトされたよりよい復興(Build Back Better)のコンセプトについて学び、グローバルな視点で復興のあるべき姿について学修する。	2
	村田昌彦、田中綾子	REG305-501	コミュニティ防災	大災害に際してきわめて重要となる自助・共助について、実際の災害事例などを通じて理解し、地域コミュニティの一員として災害に事前に備え、災害発生時には迅速的確な対応を、自ら率先して行える力を身につける。	2
	村田昌彦、田中綾子、松田宣子、横川滋章	NSC202-001	地域防災減災論	本授業では、今後ますます頻発し巨大化する各種災害をたくましく生き抜くために必要となる災害に対する基礎的な知識、災害への備え、災害発生時の対応などについて体系的に学習する。 さらに、履修者には、全国的に認知されている「防災士」の資格試験の受験機会を提供し、履修者全員が「防災士」の資格取得を目指す<防災士教本、防災士試験受験料、防災士登録料の一部は、協力企業からの寄付金により補填する予定。学生負担額=3,000円>。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
人間科学部人間心理学科	村田昌彦、田中綾子、中山誠、横川滋章	MNG305-001	セーフティマネジメント論	具体的な各種の危機事案対応などを通じて、「防災入門」で学んだ防災・減災についての体系的な知識をさらに深め、災害をイメージする力をより高めることにより、様々な危機に対する事前対策、予防、対応など、社会のいかなる分野においても有効となる安全・安心を担保する力を身につける。	2
	中山誠、山本昌宏	CRI203-701	犯罪・災害報道論	この科目で身につける知識・技法 ① 犯罪・災害の報道が理解できる。 ② マスメディアに関する知識が獲得できる。 ③ マスメディア情報に対する客観的な対応が身に付く。	2
	田中亜裕子	PSY213-001	教育・学校心理学	【科目の概要】 教育心理学の意義および課題について考察した上で、知識の獲得過程、学習の動機づけ、学習の転移、個性・個人差と授業、学習指導について学ぶ。そして、教育心理学的なものの見方・考え方を養った上で、発達を踏まえた学習支援について基本的な考え方を理解する。	2
	田中亜裕子、横川滋章	CLI208-001	臨床心理学概論	【田中担当分】 この講義では、まず臨床心理学の全体構造を把握し、臨床心理学の歴史について知る。そしてカウンセリング、アセスメントの基礎について学ぶ。さらに自分のところから「心の病」について考える機会をもつ。これらのことを通して、臨床心理学全般についての基礎的な事柄について学ぶことを目的とする。 【横川担当分】 田中先生の前半を受けて、こころの健康と異常について学び、今日の臨床心理的援助に大きな影響を与えた3つの理論・技法として、力動的心理療法と分類されるS.フロイトから始まる精神分析、C.G.ユングの分析心理学、そしてパーソンセンタード(来談者中心療法)として知られるC.R.ロジャーズの考えを紹介し、臨床心理学への基礎的理解を進めることを目的とする。	4
人間科学部人間心理学科 単位数合計					43

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
教育学部教育福祉学科	伊藤創	GLS105-501	日本事情	本講義では、政治、社会、文化、歴史、宗教、生活習慣、社会問題など様々な側面から、日本を捉えることによって、日本への理解を深めることを目的とする。また、その過程で、今後、日本が、あるいは世界がどのような方向に進んでいくべきかを議論し、論理的かつ柔軟な思考を養う。本授業は、英語と日本語の両方で行う。また時事的な問題を取り込むこと、また留学生の国籍や人数によって、比較すべき項目を柔軟にシフトしながら授業で扱う項目を変更しつつ行っていくので、本シラバスに記載されていない日本の側面を扱うこともある。	2
	下里里枝	EED203-041	保育内容総論	1、保育所保育指針における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育の内容」の関連を理解する。 2、保育所保育指針の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。 3、子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景及び保育の内容の歴史の変遷等を踏まえ、保育の内容の基本的な考え方を、子どもの発達や実態に即した具体的な保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)につなげて理解する。 4、保育の多様な展開について具体的に理解する。	1
		EED307-041	保育実習Ⅱ事前事後指導	1、保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。 2、実習や既習の教科目の内容や、その関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する。 3、保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する。 4、保育士の専門性と職業倫理について理解する。 5、実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。	1
		EED313-541	乳児保育Ⅱ	1. 3歳未満児の発育、発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。 2. 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。 3. 乳児保育における配慮の実際について、具体的に理解する。 4. 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。 ※「乳児保育」とは、3歳未満児を念頭においた保育を示す。	1

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
教育学部教育福祉学科	梶正義	SED202-501	知的障害者の自立活動の理論と実際	知的障害のある幼児児童生徒が、自立と社会参加を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善しようとする力を身につけるための中心的な教育活動が「自立活動」である。この講義では、特別支援教育の中核的領域であるこの自立活動について、具体的な内容と方法を学ぶとともに、個別の指導計画の作成と活用について学ぶ。	2
		SED203-001	知的障害教育総論	知的障害児の教育は、特別支援学校および小中学校の特別支援学級などで行われ、その際さまざまな指導内容・方法・指導形態で行われている。本講義では、知的障害の概念、定義、歴史などをまず解説する。そして、知的障害児の教育について、学習指導要領や教育課程の編成に基づいた教科別・領域別の指導および領域・教科を合わせた指導(日常生活の指導、生活単元学習、作業学習、遊びの指導)などを概説する。また、指導・支援の核となる自立活動の考え方や個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成についても説明する。毎回、前回の講義の復習を行う。また、次回の講義内容を予告し、そのキーワードを示す。	2
		SED304-541	知的障害教育	授業の前半では、知的障害のある子どもの示すさまざまな学習上の困難や行動上の問題などを応用行動分析学の視点からとらえ、さまざまな技法を適用した望ましい教育的支援の在り方を講義する。具体的には、なぜ子どもがそのように行動するのかを環境との相互作用から捉え、どのように観察し、どのようにアセスメントし、どのように指導していくのかについて述べる。 授業の後半では、「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」に関わり、その作成意義や手続の講義と演習を行う。具体的には、個別の指導計画に基づいた指導プログラムの試作・発表・討議などを行う。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
教育学部教育福祉学科	梶正義、高田哲	SED302-741	肢体不自由者の心理・生理・病理	<p>脳性まひを中心としたに肢体不自由児の心理・生理・病理についての基礎理解を深める。</p> <p>肢体不自由児の病理学、生理学を中心に大脳の働き、中枢神経系の障害、認知神経心理学的な障害などについて最近の考え方を踏まえながら医療、教育からの支援について述べる。</p> <p>肢体不自由児の心理及び発達と実態把握について概説すると共に、社会参加等の動向に関しても分かりやすく紹介し、肢体不自由教育に携わるための基礎的知識を理解する。肢体不自由児に対する様々な心理学的アプローチによって得られた知見や人に関する心理モデルを知ることによって肢体不自由の心理機能に関する見方を学習する。さらに、肢体不自由児の認知課題にもふれ、日常生活や運動動作等における心の動き・行動特性を検証する。</p>	2
教育学部教育福祉学科	栢木隆太郎、梶正義	SED315-501	教育実習(特別支援学校)	<p>・教育実習は、教員免許取得に必須であり、教師としての指導力を高めることを目的としている。</p> <p>・実習事前指導では、教育実習の意義・目的、教育指導上の基本事項および特別支援学校教育の概略について講義を行う。また、児童生徒の観察と行動記録の取り方を理解する。</p> <p>・事前指導の後、実習校において実習を行う。</p> <p>・実習後には、次のような事後指導を行う。各自で実習報告を行い、受講者全員で討議を行う。なお、実習中での授業場面の録画記録がある場合は、その分析も行う。そして、本授業の総括として、特別支援学校における様々な教育課題とその現状について確認する。</p>	3
	松尾和宣	PED223-041	生活	<p>○生活科の目標・内容・特性等についての理解を深める。</p> <p>○生活科の授業構成や展開についての基礎的な理論について理解する。</p> <p>○生活科の実践事例について学び、授業技術について発表活動やグループワークを通して生活科授業のおもしろさを体験する。</p> <p>【対応する学科の学修目標】</p> <p>①教育や福祉に関する様々な研究方法を活用し、教育・社会事象を理解し、分析できる。</p> <p>・教育・社会事象を、教育、福祉の観点から、特定の研究方法を使って説明することができる。</p> <p>【学期の主題: 2年春学期(安全の価値)】</p> <p>学習指導要領の生活科の目標として、「自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもつこと」がある。生活科の学習は、児童が自分と身近な人々や社会や自然との直接的な双方向性のある活動をめぐって展開され、それが「安全」や「安心」につながっていることに気づく。</p>	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
教育学部教育福祉学科	松尾和宣	PED301-041	初等社会科教育法	<p>【授業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校社会科の基本理念(目標・特性等)について学ぶ。 ○学習内容に応じた指導計画の作成法。指導計画に基づく指導案の作成法。 ○作成した指導案の検討・分析などを通して、授業技術について学ぶ。 ○模擬授業やグループワークなどの体験を通して、授業の奥深さ、面白さを体感する。 	2
		PED304-041	初等生活科教育法	<p>【講義の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活科の基本理念について理解する。 ○生活科の学習指導に必要な基礎知識や教育技術について学ぶ ○生活科の学習内容に応じた指導計画の作成法。指導計画に基づく指導案の作成法について学ぶ ○作成した指導案の検討・分析などを通して、授業技術について学ぶ ○発表活動やグループワークなどを通して、授業のおもしろさ難しさなどの体験をする。 	2
		PED312-041	社会 I	<p>【講義の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領における小学校社会科教育の目標・内容等のねらいやポイントを理解しつつ社会科の教育実践につなげる。 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校社会科教育の目標・内容と具体的な実践との比較研究 ・社会科教育における資料の活用を中心として学習スキルを検討・研究する ・発表活動、グループワークなどの体験を通じた指導法の研究 <p>【対応する学科の学修目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教育や福祉に関する様々な研究方法を活用し、教育・社会事象を理解し、分析できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・教育・社会事象を教育や福祉の観点から特定の研究方法を使って説明できるようにする。(レベル2) <p>【学期の主題:3年春学期(未来に向けた持続可能性)との関連】</p> <p>「安全」で「安心」な学級経営を持続させるための柱となる学習指導の技術について、社会科を通して考えを深める。</p>	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
教育学部教育福祉学科	松尾和宣	PED313-541	社会Ⅱ	<p>【授業の概要】</p> <p>○社会Ⅰで学んだ小学校社会科教育の目標・内容等のねらいやポイントなどの理解を深め、社会科の教育実践力向上をめざす。</p> <p>○小学校社会科教育の目標・内容と具体的な実践との比較研究</p> <p>○社会科教育における資料の活用を中心とした学習スキルを検討・研究する</p> <p>○発表活動、グループワークなどの体験を通じた指導法の研究</p> <p>【対応する学科の学修目標】</p> <p>②教育・社会事象に関して、教育学や社会福祉学の体系的な知識を使って理論的に説明できる。</p> <p>・教育・社会現象を、教育、福祉の観点から、特定の研究方法を使って説明することができる。</p> <p>【学期の主題：3年秋学期（グローバル化への対応）】</p> <p>学習指導要領の社会科の目標には、「我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う」とある。グローバル化社会に生きていく、子どもたちの資質の基礎を養うというねらいをふまえて社会科教育を考えることができるようにする。</p>	2
				<p>近年、児童を取り巻く環境は大きく変化し、児童にとって決して安心・安全なものではなくなってきている。子供の貧困、児童虐待等、明らかに子どもの人権が侵害されている実態が毎日のようにニュースとして伝わって来る。これらを見ても、社会によって守られるべき=養護されるべき子どもの実態が大きく変化してきており、その支援の在り方も大きく変わりつつあることがわかる。</p> <p>このような状況をもとに、児童の養護に関する歴史や法・制度について学び、そして社会的養護とは何かについて学ぶ。その中で、社会的養護を担う保育士に求められる専門性や支援のあり方について学び、専門職としての資質を高める。</p>	
	松本恵美子	EED202-041	社会的養護	<p>①さまざまな種類の施設の子供達の問題と、その生活を知り、理解をする。</p> <p>②さまざまな種類の施設の果たしている役割を理解する。</p> <p>③施設の子供達の支援の方法を学び、一人一人の子供に合わせたコミュニケーションの取り方を学ぶ。</p> <p>④施設職員の仕事内容を知り、保育士の専門性について学ぶ</p>	1

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
教育学部教育福祉学科	上原昭三	PED212-041	算数 I	<p><授業の目的> 小学生に興味深い算数指導を行うために、算数科の具体的な内容(教材)について理解を深め、必要な知識や考え方を身につけることを目的としています。</p> <p><授業の概要> この科目では、授業の目的を達成するため、講義、演習を通して次の①～④を行います。</p> <p>①児童目線に立って教材(小学校教科書)を読み解き、その狙いや考え方、工夫について他者に解説する。</p> <p>②児童に興味を持たせ、算数授業を深めるための算数・数学に関する知識や理論について学ぶ。</p> <p>③児童に分かりやすく説明できることを目指した、具体的な算数問題の解答・解説を作成する。</p> <p>④①～③を踏まえ、児童が算数を好きになる教材を作成する</p>	2
		PED302-041	初等算数科教育法	<p><授業の概要> 小学校で実際に算数の授業を行うこと(教育実習含む)を念頭に置いて、それに必要な知識・技能・考え方について、学習指導要領等を踏まえて理論的に学ぶとともに、模擬授業づくりなどのグループワークや演習を通して実践的に磨いていく。</p> <p><授業の目的> 算数科における教育目標、目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について背景となる数学の理論や法則と関連させて理解を深めるとともに算数教育の理論をはじめとしたさまざまな学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。</p>	2
		PED319-541	算数 II	<p>興味深い算数指導を行うことを念頭に、算数 I での学修を1歩進めた、知識・技能・考え方を身につけることをめざし、以下のことを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を通じて算数・数学的な知識および考え方を深める。 ・実践事例を参照しながら、(子どもたちの)日常事象や身近にある素材を活かした教材(教具)づくりの考え方や方法について学ぶ。 ・自らのアイデアを生かし、子どもの算数概念を形成する教材(教具)を作成する。 ・自ら開発した教材(教具)について、ワークショップを実施し、考えを交流する。 	2
	村田昌彦	REG306-501	防災教育	<p>【本授業では、企業防災を行うための防災教育を主眼とする】 大災害において企業に対する被害を最小限にとどめ、企業活動を迅速に再開し、企業を存続させるために必用となる、災害への備え、災害後の対応についての知識や対処法を、過去の災害における企業対応の成功・失敗事例などから学ぶ。</p>	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
教育学部教育福祉学科	村田昌彦、田中綾子、松田宣子、横川滋章	NSC202-001	地域防災減災論	<p>本授業では、今後ますます頻発し巨大化する各種災害をたくましく生き抜くために必要となる災害に対する基礎的な知識、災害への備え、災害発生時の対応などについて体系的に学習する。</p> <p>さらに、履修者には、全国的に認知されている「防災士」の資格試験の受験機会を提供し、履修者全員が「防災士」の資格取得を目指す<防災士教本、防災士試験受験料、防災士登録料の一部は、協力企業からの寄付金により補填する予定。学生負担額=3,000円>。</p>	2
		EED208-041	保育内容・表現Ⅰ	<p>幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針及び幼稚園教育要領における領域「表現」について考察し、幼児の未分化な表現とその指導についての理解を深めます。本授業では特に、幼児の造形について取り扱い、幼児の造形作品を鑑賞したり、幼児の造形に関する研究に触れたりすることを通して幼児理解を進めるとともに、幼児と造形の関わり及びその活動の意義を学び、併せて基礎的指導力を養います。また描いたり、つくったり、みたりする活動を通して、互いの「違い」の面白さに気づき、色や形を介してのコミュニケーションの意義を認識します。</p> <p>それに加えて、その過程を通して自ら創造する喜びを味わい、保育者に必要とされる豊かな感性を自己の中に育てます。</p>	1
	EPE403-541	造形Ⅱ	<p>図画工作科の「目標」「指導内容」「指導方法」「評価」を、子どもの成長と表現・製作の発達といった観点や美術教育の歴史的変遷などから捉え直し、この教科の意味や価値についての認識を深めます。</p> <p>その上で、題材や授業を具体的に構想する力や子どもの自発的・主体的な学習を保障しながら授業を展開する力など、図画工作科に関する理論的・実践的力量的形成をはかります。</p> <p>受講生の希望も取り入れながら様々な造形活動に取り組みます。その活動を通して造形教育の理念と方法を理解し、授業を計画実施できる能力を養います。</p>	1	
	PED203-541	初等図画工作科教育法	<p>図画工作科の「目標」「指導内容」「指導方法」「評価」を、子どもの成長と表現・製作の発達といった観点や美術教育の歴史的変遷などから捉え直し、この教科の意味や価値についての認識を深めます。</p> <p>その上で、題材や授業を具体的に構想する力や子どもの自発的・主体的な学習を保障しながら授業を展開する力など、図画工作科に関する理論的・実践的力量的形成をはかります。</p>	2	

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
教育学部教育福祉学科	大西洋史	PED209-041	図画工作 I	図画工作科の「目標」「指導内容」「指導方法」「評価」を、子どもの成長と表現・製作の発達といった観点や美術教育の歴史的変遷などから捉え直し、この教科の意味や価値についての認識を深めます。 その上で、題材や授業を具体的に構想する力や子どもの自発的・主体的な学習を保障しながら授業を展開する力など、図画工作科に関する理論的・実践的力量的の形成をはかります。 特に、「造形遊び」、「絵や立体にあらわす」領域の題材について、製作を通して指導のポイントなどの理解を深め、授業を計画実施できる能力を養います。	1
		PED210-541	図画工作 II	図画工作科の「目標」「指導内容」「指導方法」「評価」を、子どもの成長と表現・製作の発達といった観点や美術教育の歴史的変遷などから捉え直し、この教科の意味や価値についての認識を深めます。 その上で、題材や授業を具体的に構想する力や子どもの自発的・主体的な学習を保障しながら授業を展開する力など、図画工作科に関する理論的・実践的力量的の形成をはかります。 特に、「工作にあらわす」、「鑑賞」領域の題材について、製作や活動を通して指導のポイントなどの理解を深め、授業を計画実施できる能力を養います。	1
	大平誠也	PED102-541	体育講義	生涯にわたって健康な生活を送るための科学的な知識や方法、戦略についての理解を深める。その上で、専門家の指導を得ながら、子どもたちを取り巻く環境、児童期における体育の重要性と安全確保について学びを深める。地域の専門機関と連携し、社会との有機的なかわりを見据えた講義で、深い学びの形成を目指す。	2
		PED205-541	初等体育科教育法	小学校における体育科の各運動領域の特性やねらいを理解し、学年や発達に応じた指導計画を作成する力を育成し、学習指導案作成を通して教材研究し、授業を創造的に展開していける力を養成する。 その際、運動が持つ特性を理解し、児童が運動それぞれが持つ固有の楽しさに触れることができるような学習活動を展開する。	2
中西一彦	EED217-541	言語表現技術	言語表現の基礎基本として「聞く・話す、読む、書く」を位置づけることができる。 幼児期においては、ことば獲得段階として「話す・聞く・演じる」ことへの興味・関心が高まることを学ぶ。 幼児期に積極的かつ意欲的な態度を身につけるには、周囲にいる大人の関わり方が大きく影響することを学ぶ。 幼児期言語の特徴を理解し、言語表現技術の具体的展開のための技術を習得することをめざす。	1	

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
教育学部教育福祉学科	中西一彦	PED103-041	国語 I	新聞と読書を中心に「言葉を育てる」ことを学ぶ。 教育現場において行われる「聞く・話す、読む、書く」という言語活動について、文献や事例をもとに学ぶ。 読書タイムや書取テスト、スピーチの実践を通して、自らの基礎的な国語力を高めることをめざす。	2
	中西一彦	PED201-541	初等国語科教育法	国語科教育の実際を伝え、現状における課題を浮き彫りにする。 これからの国語科教育の歩むべき方向を求める。 授業を作ることに必要な教師の国語力とはいかなるものかを明らかにする。 具体的には、 ・学習指導要領と教科書との関連を把握する。 ・教材(学習材)研究を通じて、指導案を作成する。 ・指導案に基づく模擬授業および批評会を開く。 ・書写指導について実践を通して指導法を学ぶ。	2
		PED211-541	国語 II	大村はまの実践から「教えるということ」の本質を探ることを第一義とする。次に、「国語力」の伸長をめざし、メディアリテラシーの観点から、「聞く・話す、読む、書く」の基礎的スキルレベル向上を図る。	2
	中西一彦、上原昭三、松尾和宣、吉田武大	PED222-041	板書技術	教育現場において、黒板・電子黒板の活用は必要不可欠である。子供たちの学習指導を支援するのは、効果的な板書である。そこで、黒板の効果的な書き方、電子黒板の使い方を伝授することによって、教育実習に向かう実践力を身につけることをめざす。	2
	中尾繁樹	SED204-041	肢体不自由教育総論	肢体不自由児(者)の正しい理解と認識を深めるとともに、肢体不自由教育の歴史や学習指導要領の変遷をたどりながら、主に肢体不自由教育の全般的な理解について学習する。肢体不自由を主とした特別支援学校及び特別支援学級での指導の実際を学習する中で、特別な教育内容、領域教科を合わせた指導(遊びの指導、生活単元学習、作業学習、日常生活の指導)の授業、自立活動、教科の授業等について理解する。さらに「個別の指導計画」及び「個別の教育支援計画」について、その基本的考え方や策定方法も理解する。 それらの学習によって基本的な知識及び技能の習得を目指し、肢体不自由のある子ども一人ひとりへの具体的な支援の手立てを考えていく。ライフステージそった様々な事象や現象について触れながら肢体不自由児の教育課程、心理、生理及び指導法を理解し、将来の進路に向けた資質向上につながるようにする。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
教育学部教育福祉学科	中尾繁樹	SED206-541	LD等教育総論	<p>この科目では、学習障害(LD)、注意欠陥／多動性障害(ADHD)、高機能広汎性発達障害等を中心とした発達障害について学ぶ。特に、発達障害のある子どもの心と行動を理解するために、発達の観点と心理学的観点を基本に置き、心理・生理・病理を解説し、教育的支援の実践的基礎を学ぶ。</p> <p>また、具体的なアセスメントの方策や実践的な援助の仕方を学ぶことで、現場で役立つ理論と実践を身につけ、個別の指導計画の作成をする。</p> <p>発達障害の正しい理解と認識を深めるとともに、特別支援教育の基本的な理念と内容について学ぶ。これまでの「場の教育」から「機会の教育」へと内容が変化している中で、通常の学校や特別支援学校での支援の具体的な指導方策を学ぶ中で、特別支援教育の今日的課題を考察していきたい。</p>	2
		SED305-041	肢体不自由教育	<p>肢体不自由児(者)の正しい理解と認識を深めるとともに、肢体不自由教育の実態、教育課程、指導内容・方法、自立活動、進路等について具体的な実践を学ぶこととする。肢体不自由を主とした特別支援学校及び特別支援学級での教育の中核活動である授業を中心に、「個別の指導計画」及び「個別の教育支援計画」、並びに評価と授業改善について学習する。さらに肢体不自由教育における特徴的な指導について、身体の動き、感覚的アプローチ等の実践的理論と指導における活用を理解する。それらの学習によって基本的な知識及び技能の習得を目指し、肢体不自由のある子ども一人ひとりへの具体的な支援の手立てを考えていく。ライフステージそった様々な事象や現象について触れながら肢体不自由児の授業の進め方、指導法等を理解し、将来の進路に向けた資質向上につながるようにする。</p>	2
		SED402-041	重複障害教育総論	<p>行動上の重複障害と発達上の重度重複障害への特別支援教育における対応体系の全体像の基本的知識を身につけ、重複障害等の特性(心理、生理、病理)についての基本的理解をする。さらに自立活動を中心とした重複障害等への指導の基本的理解をする。</p> <p>この科目では、自閉症等の重度行動障害、肢体不自由等の重度重複障害について学ぶ。特に、重複障害のある子どもの心と行動を理解するために、発達の観点と心理学的観点を基本に置き、心理・生理・病理を解説し、教育的支援の実践的基礎を学ぶ。また、具体的なアセスメントの方策や実践的な援助の仕方を学ぶことで、現場で役立つ理論と実践を身につけ個別の指導計画の作成をする。</p>	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
教育学部教育福祉学科	道中 隆	SWK101-041	社会福祉概論 I	<p>現代社会の世代間の価値観の多様化や家族のあり方の変化、核家族化の中で社会福祉の本質的な内容を講義形式で、①現代社会における福祉制度と福祉政策、②福祉の原理をめぐる理論と哲学、③福祉制度の発達過程、④福祉政策におけるニーズと資源を各回の主題、領域にわけて総論的に学ぶ。</p> <p>その上で、問題や困難な課題を抱えている人や、援助に関わる人が人として自分らしく生きることを主体的に考えていけるよう、社会福祉の制度改革や福祉サービス提供のあり方について理解する。</p>	2
	椋田善之、下里里枝	EED312-543	幼稚園教育実習事前事後指導	<p>これまで学んできた幼児教育にかかわる専門的知識や技能を基礎に、実習という実践現場で総合的に能力が発揮できるための準備を進めていく。また、何のために幼稚園教育実習に行くのか、実習先はどのような所なのか、実習はどのようなことをするのかなどを理解させ、実習を効果的に行うための動機付けを行う。</p> <p>実習に必要な社会人としてのマナーの自覚や意識化、実習園でのオリエンテーションの持ち方、事務的な手続きについても具体的に指導を行う。</p> <p>事後指導は、実習体験をどのように捉えているか、実習の学びを考えさせる。実習日誌や実習園の評価を基に振り返り、次回の実習に活かせるよう新たな課題について学び、発揮できるようにする。</p>	1
教育学部教育福祉学科 単位数合計					69

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
保健医療学部看護学科	岡光京子、高見沢恵美子、 美木圭介、森一恵	NAH201-001	成人健康看護学概 論	この科目では、成人期にある人の健康の維持・増進や疾病からの回復を促進するための健康レベルに応じた看護実践に関わる基本概念や基礎知識を修得することをねらいとする。看護専門職者、とくに看護師、保健師活動において対象とする成人期にある人々の身体・心理・社会的特徴、健康問題の特徴について学修を深め、対象への看護に有用な概念および理論について学ぶことを目的とする。	2
	高見沢恵美子、伊東愛、岩 下真由美、井上久美代、蛭 子真澄、遠藤俊子、岡光京 子、川畑摩紀枝、岸本喜代 子、岸川亜矢、黒田葉子、 郷原寛子、子安恵子、櫻井 信人、神宮寺陽子、中野康 子、中島登美子、西村美登 里、沼本教子、原本久美 子、濱田豊美、本田真也、 松田宣子、松原まなみ、溝 畑剣城、美木圭介、森一 恵、横山なぎさ、横山利枝	NAD403-001	看護研究方法	【概要】 看護研究の目的と必要性を理解し、研究に関する基礎的な知識・方法を習得する。看護研究の意義、文献検索方法、研究計画書の作成方法、調査方法について学修する。	2
	高見沢恵美子、岩下真由 美、岡光京子、美木圭介、 森一恵	NAH205-501	急性・慢性看護技 術演習	【概要】 健康状態の急激な変化により生命の危機状態にある、あるいは慢性疾患や障害とともに生活している成人患者・家族の最適な健康状態の回復・維持に働きかけるための看護援助に関する知識・技術を習得することを目指す。周手術期に関する技術、呼吸・循環機能、代謝機能を維持促進するための看護技術およびフィジカルアセスメント技術について学修する。	1
	高見沢恵美子、美木圭介、 森一恵	NAH202-001	急性・重症看護援 助論	【概要】 急性・重症看護学の対象となる人々の健康問題の特性、ならびに看護の基盤となる理論や援助方法を学修する。さらに、健康問題・援助方法の知識を活用して、急性期にある患者・家族の事例の看護過程をグループワークを通して学修する。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
保健医療学部看護学科		NAH301-011	急性看護学実習	<p>【概要】</p> <p>急性期にある患者・家族が危機状況を乗り越え、治療や症状によってもたらされる心身への侵襲から速やかに回復し、セルフケア能力を発揮できるよう、急性期病棟で臨床患者への看護実践を通して急性看護学に関する援助を学修する。対象者の病態と手術による侵襲を理解し、合併症を予防し、術後変化した形態・機能の回復過程にあった療養生活に患者が主体的に取り組める援助の在り方を、看護過程を用いて学修する。</p>	3
	山本喜晴	PSY109-001	心理学基礎	本講義では心理学の基礎と看護実践への活用のためのストレスマネジメントを学ぶ。人間の心理や行動の一般法則を知ることにより、看護をする自分について理解を深め、看護を受ける側について理解を深める。	1
	松田宣子、伊東愛、川畑摩紀枝	NCH219-001	公衆衛生看護学概論	臨床看護における個に対する看護から集団そして地域全体を対象とする公衆衛生の場での看護へと学生の看護とその活動に対する見方を広げていくことねらいとする。	2
		NCH313-801	個人・家族・集団・組織の支援活動論	本科目は公衆衛生看護学の専門科目の一つです。病院に入院している患者ではなく、地域で生活する人々を対象とした公衆衛生看護活動の看護(支援)の特徴を理解し、公衆衛生看護を実践する上での基本的知識と技術の獲得を目指します。保健師課程を選考しない学生にとっては、やや難しい内容となるかもしれませんが、臨床看護との関連性を示しながら講義(アクティブラーニングを含む)を進めていきます。	2
		NCH404-011	公衆衛生看護学実習	公衆衛生看護学実習は主たる活動の場である1)保健所・市町村、2)産業保健、3)学校保健の3箇所で行います。この実習に統合看護実習(公衆衛生看護学分野)を合わせて、保健師として活動する上で必要な実践的知識と技術の獲得を目指します。	4
	沼本教子、原本久美子	NCH216-001	老年看護援助論	<p>老年期における心身の変化や特有の疾患・症状について理解し、高齢者とその家族に対する基本的な看護援助の知識・技術の習得をねらいとする</p> <p>高齢者の日常生活、おおび加齢に伴う症状や徴候のアセスメントの方法、加齢と疾病に伴う生活機能の変化と、喪失した生活機能の再構築と適応に向けての看護援助の方法について学習するとともに、脳梗塞の高齢者の紙上事例を用いて看護過程を展開する</p> <p>【対応する学科の教育目標】</p> <p>人間についての幅広い専門知識を用いて対象者を多方面に捉え、論理的思考に基づいて、看護問題・課題を考えることができる</p>	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
保健医療学部看護学科	沼本教子、原本久美子、日野徳子	NCH311-011	老年看護学実習	<p>高齢者施設、およびリハビリテーション病棟での臨地実習を通して老年期にある対象の加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化の特徴と、人生の統合期である発達課題を理解し、対象に応じた看護実践能力を養うことを目的とする。</p> <p>高齢者施設では、認知症をもつ高齢者への環境ケアとコミュニケーションのあり方を学ぶ。続いて病院実習では、老年期という発達段階にある受け持ち患者を総合的に理解し、病態と対象者が有する資源とを結び付け、生活機能の再構築の観点からの看護過程を学ぶ。さらに、実習を通して高齢者を取り巻く保健・医療・福祉分野の多職種との連携の実際と看護の役割の理解、及び高齢者の自尊心や価値観を尊重する態度の修得と自己の老年観を養うことを目指す。学内演習では臨地実習に必要な看護技術の演習、記録用紙を用いた受け持ち患者の情報整理、アセスメント～関連図～看護計画の立案・整理と、臨地実習の学びの振り返りを行う。</p>	3
	川畑摩紀枝、伊東愛、久井志保、松田宣子、益江淑子	NCH402-001	公衆衛生看護活動展開演習	<p>本科目は保健師課程の専門科目として以下2つの内容を学びます。</p> <p>1. 保健事業は法的根拠に基づいた政策、制度のもとに実施されます。保健師はこれらの基盤となる法律、政策、制度をまず理解しておく必要があります。これらについて本科目の前半で学びます。</p> <p>2. 後半では、保健師活動上必要な基本的技術の中から主として健康診査、家庭訪問、健康教育に絞って演習を実施し、実習時に個々の学生が実際に適用できることを目指します。</p>	3
	川畑摩紀枝、伊東愛、松田宣子、未定	NCH403-001	公衆衛生看護管理論	<p>本科目では保健師活動の基礎となる地域診断(コミュニティ・ヘルス・アセスメント)の理論と技術について学びます。</p> <p>地区診断とは保健所及び市町村などの行政の場で働く保健師に必須の専門技術として位置付けられています。保健師として担当地区の健康課題を明らかにし、地域のニーズにあった保健事業及び保健政策を企画する能力です。本科目ではこの地域診断の技術を獲得するために、講義と演習(個人ワーク・グループワーク)を通し、モデル地区(市町レベル)及び実際に実習を行う地区(市町レベル)について主として二次データをもとに演習を行い、地域集団の健康課題を明確にするための情報の収集方法と分析方法を学びます。そしてこれらの結果をもとに市町村の保健事業を実際に企画していきます。尚、本科目の演習の結果は公衆衛生看護学実習の際の基礎資料となります。実習ではこれらの二次データの情報に一次データ(観察及びインタビューから得られる情報)を加えることで、地域診断を完成させていきます。</p>	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
保健医療学部看護学科	村田昌彦、田中綾子、松田宣子、横川滋章	NSC202-001	地域防災減災論	本授業では、今後ますます頻発し巨大化する各種災害をたくましく生き抜くために必要となる災害に対する基礎的な知識、災害への備え、災害発生時の対応などについて体系的に学習する。 さらに、履修者には、全国的に認知されている「防災士」の資格試験の受験機会を提供し、履修者全員が「防災士」の資格取得を目指す<防災士教本、防災士試験受験料、防災士登録料の一部は、協力企業からの寄付金により補填する予定。学生負担額=3,000円>。	2
	中島登美子、岸川亜矢、本田真也	NHF201-001	小児健康看護学概論	小児看護の対象となる子どもと家族、それを取り巻く環境、子どもの成長発達と健康について考えることを通じて、小児看護を実践していくための基本となる知識と技術を学ぶ。	2
	中島登美子、岸川亜矢、本田真也、横山利枝	NHF202-501	小児看護援助論	健康問題・障害を持つ子どもと家族について、さまざまな病期、各発達段階にある子どもと家族に対する看護の方法を講義と演習を通して学ぶ。 健康問題・障害を持つ「子供と家族への看護展開の方法を個人またはグループで実際に事例の展開を行うことを通じて学ぶ。またバイタルサイン測定、与薬などの演習を実施し、小児看護実践能力の基礎を身につける。	2
		NHF301-011	小児看護学実習	発達過程にある子どもと家族の健康生活を踏まえ、病気や障害が子どもと家族に及ぼす影響を理解し、必要な看護を実践できる基礎的能力を修得できる。	2
	中野康子、堀口和子	NCH217-001	在宅看護学概論	在宅看護の歴史や在宅看護が必要とされる社会的な背景を踏まえ、在宅看護の概要と対象、活動の場、活動方法の特徴、および在宅看護の役割と課題を学ぶ。	2
	蛭子真澄	NFN101-001	基礎看護学概論	看護学のメタパラダイムである、人、健康、環境、看護に関する理解を深め、看護観の基盤を構築することをねらいとする。看護の概念、看護の歴史、主要な看護モデル・理論、生命の尊厳と人権の尊重、看護専門職者に求められる役割・機能、倫理的感受性と看護倫理について学習する。また、看護学教育の歴史的・制度的背景をふまえ、看護の質を高め、看護専門職者としてのキャリア発達を促す看護教育の在り方についても学ぶ。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
保健医療学部看護学科	蛭子真澄、黒田葉子、神宮寺陽子、横山なぎさ	NFN102-501	基礎看護方法論	看護の基盤となる看護技術の基本的な考え方、および看護技術の実践において基盤をなす方法論について理解し、基本的な看護技術に関する知識・技術を習得することをねらいとする。具体的には、看護の対象となる人々と援助的人間関係の構築、療養環境を整えるための援助、ヘルスアセスメントにかかわる基本技法について学習する。	2
		NFN103-501	基礎看護技術Ⅰ (生活援助)	あらゆる看護援助の基盤となる安全・安楽な療養生活を支援するための看護技術の習得を目指す。講義、視聴覚教材の視聴、患者役・看護師役のロールプレイを通し、食生活や排泄を整えるための援助、清潔や衣服を整えるための援助、活動・休息の援助等に係る看護技術を学習する。	1
		NFN104-501	基礎看護技術Ⅱ (治療援助)	療養を支えるための診療補助行為に関わる基本的な看護技術の習得を目指す。講義、視聴覚教材の視聴、患者役・看護師役のロールプレイを通し、感染予防に関わる援助技術や薬物療法に関わる援助技術、呼吸・循環を整える技術等について学習する。	1
		NFN105-701	基礎看護学実習Ⅰ (早期体験実習)	早期体験学習として位置づけ、看護専門職者となるための学習の動機づけを図ることをねらいとする。 医療施設において、病棟や外来などの看護実践の場に赴き、療養環境を把握するとともに、対象者の療養・診療の援助、自立の援助などの看護活動を見学・学習し、対象の健康ニーズと対応する看護専門職者の役割・機能について理解を深め、学習の方向性と在り方を探求し、今後の自己の学習目的を定める。	1
		NFN201-001	基礎看護技術Ⅲ (看護過程)	健康上の問題や障害をもつ人々の生活上のニーズや諸問題を明らかにし、その解決に向けた確かな援助を提供するためのツールとしての看護過程(問題解決思考)の習得を目指す。具体的には、紙上事例をとりあげ、看護実践上の科学的根拠として用いられる代表的な看護理論を用いて看護過程を展開するトレーニングを実践する。	1

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
保健医療学部看護学科	蛭子真澄、黒田葉子、神宮寺陽子、横山なぎさ	NFN202-801	基礎看護学実習Ⅱ (看護援助過程)	健康障害により日常生活援助を必要とする患者に対して、既習の知識・技術・態度を適用・応用し、患者を総合的に理解して、個別的な看護活動を実施するための基礎的能力を習得する。1名の患者を受け持ち、患者と援助的人間関係を築き、安全・安楽に基づき看護を展開するプロセスについて学ぶ。	2
	櫻井信人、西村美登里	NAH206-001	精神健康看護学概論	精神保健福祉、精神の健康概念、精神看護の基盤となる諸理論を理解し、精神看護実践に適用するための基礎的知識の習得をめざす。精神看護の基盤となすコミュニケーション、援助関係の構築、治療的アプローチ、治療的環境、精神保健福祉の対象・領域・活動内容と他職種連携について学ぶ。	2
	櫻井信人、西村美登里、溝畑剣城	NAH207-501	精神看護援助論	精神の健康問題を抱える人々とその家族の特徴や、精神看護の役割と課題について理解を深め、精神看護の援助方法と技術に関する知識や理論の習得をねらいとする。具体的には、精神の健康問題に関する知識や、精神的健康問題をもつ患者に対するコミュニケーション技法を含む精神看護援助技術について学ぶ。	2
		NAH303-011	精神看護学実習	精神科病院で実習を行い、これまでの講義で培った知識と技術を展開する。実習では、学生は原則として1人の患者を受け持ち、看護ケアを実践する。実習での受け持ち患者とのかかわりを振り返ることを通して、看護上の問題点や目標を抽出し、具体策を整理する。さらに、実習で体験したことをカンファレンスでの他の学生やスタッフとの意見交換を通して、広く探究する。これらの実習の場で学習したことを通して議論し、実習目標に照らして各自が学習内容を統合する。 【精神看護学実習の目的】 1) 精神の健康に障害のある人とその家族を対象に、その人のこれまでの人生や生活を理解した上で必要な援助を実践する。 2) 精神の健康に障害のある人がその人らしく自立して生活できるように必要なサポートシステムを理解する。 3) 関係性を構築していく中で、自分のコミュニケーションパターンを振り返り、強みを生かしながら看護を実践する。	2
保健医療学部看護学科 単位数合計					55

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
経営学部経営学科	伊藤創	GLS105-501	日本事情	本講義では、政治、社会、文化、歴史、宗教、生活習慣、社会問題など様々な側面から、日本を捉えることによって、日本への理解を深めることを目的とする。また、その過程で、今後、日本が、あるいは世界がどのような方向に進んでいくべきかを議論し、論理的かつ柔軟な思考を養う。本授業は、英語と日本語の両方で行う。また時事的な問題を取り込むこと、また留学生の国籍や人数によって、比較すべき項目を柔軟にシフトしながら授業で扱う項目を変更しつつ行っていくので、本シラバスに記載されていない日本の側面を扱うこともある。	2
	坂上英彦	BSS202-001	コミュニティビジネス	コミュニティビジネスは、地域資源を生かしながら地域課題の解決を「ビジネス」の手法で取り組むもので、国内だけでなく世界中で発展していく可能性があり、経営モデルのひとつとして理解するとともに具体的なイメージを持つことを目的とする。本授業は、地域の人材やノウハウ、施設、資金を活用することにより、地域における新たな創業や雇用の創出、働きがい、生きがいを生み出し、地域コミュニティや地域産業の活性化に寄与し、少子高齢化、過疎化、地域産業の衰退など複雑で多様な課題を解決できることを学びます。	2
		MNG206-001	地域マネジメント	全国の地域は、少子高齢化による人口減少、首都圏への一極集中などにより、地域の安全・安心はもとより、存続そのものが危機にさらされています。この問題を解決するために地域住民が真の豊かで暮らしていけるよう、従来の考え方や習慣、体制にとらわれないイノベーションの発想をもとに、市民、企業、行政などの関係者が主体的に協働して実践していくあり方が重要となっています。本科目では、地域の問題と課題を理解しながら、具体的な地域マネジメントの事例から地域づくりに対する基本的な考え方はもとより、三木市をケースにした活性化策について、地域資源の現状評価、テーマの発見、計画へのプロセスをグループワークにより体験し、異なる意見をまとめてコンピューターによる提案、プレゼンテーションまでのスキルの獲得を目指します。将来的に、地域の安全・安心、地域づくり、地域社会の分野で活躍する際に有望な学修となります。	4
	村田昌彦	GLB302-501	国際防災協力	大災害発生時には、海外からの被災地支援が必要となる。本授業では、国際的な災害支援の枠組みやシステム、さらに、わが国の具体的な国際支援や受援の実績などについて、実際に国際防災協力関係の仕事を行っている実務家を授業に呼び、実体験に基づく話を聞き、国際防災協力について体系的に学ぶ。	2
	村田昌彦、田中綾子	REG305-501	コミュニティ防災	大災害に際してきわめて重要となる自助・共助について、実際の災害事例などを通じて理解し、地域コミュニティの一員として災害に事前に備え、災害発生時には迅速的確な対応を、自ら率先して行える力を身につける。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
経営学部経営学科	村田昌彦、田中綾子、松田宣子、横川滋章	NSC202-001	地域防災減災論	<p>本授業では、今後ますます頻発し巨大化する各種災害をたくましく生き抜くために必要となる災害に対する基礎的な知識、災害への備え、災害発生時の対応などについて体系的に学習する。</p> <p>さらに、履修者には、全国的に認知されている「防災士」の資格試験の受験機会を提供し、履修者全員が「防災士」の資格取得を目指す<防災士教本、防災士試験受験料、防災士登録料の一部は、協力企業からの寄付金により補填する予定。学生負担額=3,000円>。</p>	2
	村田昌彦、田中綾子、中山誠、横川滋章	MNG305-001	セーフティマネジメント論	<p>具体的な各種の危機事案対応などを通じて、「防災入門」で学んだ防災・減災についての体系的な知識をさらに深め、災害をイメージする力をより高めることにより、様々な危機に対する事前対策、予防、対応など、社会のいかなる分野においても有効となる安全・安心を担保する力を身につける。</p>	2
	李容淑	TOU203-541	観光産業特論	<p>世界では「観光」は21世紀の最大の産業であると言われている。観光産業は裾野が広く、多くの業種・業界に渡って経済波及の効果を持つ産業である。特に現代社会における観光産業は、無公害産業、世界最大の雇用産業として脚光を浴び、観光が国際経済に与える影響力が大きくなっている。</p> <p>世界各国は観光産業を国家戦略産業として育成し、競争優位性を先取りするために熾烈な競争を繰り広げている。世界中が経済不況で喘いでいる中でも観光産業は、持続的な成長を見せて、グローバル時代の無限の成長産業として注目されている。</p> <p>その観光産業において日本は訪日観光客を誘致するために、常に新しい政策を発表している。2003年VISIT JAPAN・キャンペーンを始め、訪日外国人観光客数が2016年には2404万人を超え、2020年オリンピック・パラリンピックには4,000万人を目指している。</p> <p>この講義ではインバウンド観光は日本政府が主導する日本の未来を支える重要国家産業として専門家育成戦略に従いまして『インバウンド主任者実務認定試験』を目指して徹底的な授業を実施します。</p>	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
経営学部経営学科	李容淑	TOU206-541	アジア文化論	<p>文化は人々が一定の時代と場所で集団で生きていく中で発生した生活様式や考え方である。すなわち、衣・食・住、言語、宗教、知識、芸術、制度など民族や社会の全体的な生活の様子を指す非常に包括的な概念である。</p> <p>文化は、世界の領域に拡張されて多様化と融合の過程に進んでいる。世界の文化と経済圏の区域を、米国圏、ヨーロッパ圏、アジア圏に分けて見ると、第二次世界大戦と産業革命の過程を経て、アジアの文化環境も急速な変化を経ている。近代のアジア地域の環境の変化は、アジア諸国の政治構造、経済とさらに文化の発展を遂げたことによる変化が注目されている。最近では、中国を含む中華圏のアジア文化が大きな影響力を持っている。したがって、近隣国家とは競争や対立関係ではなく、更に緊密なパートナーの役割を強化することができるよう、互いに良好な関係を形成することが重要である。特に、IT情報産業が急速に発展して日本、中国、韓国、台湾では華流、韓流、日流と呼ばれる新しい文化が共存、生成されており、アジアの文化の力を示している。したがって現在、世界ではアジア人は少数民族ではなく、生産と消費の主流となる世界人として環境が形成されている。この授業を通じて、変化する最近のアジアを理解し、日本の未来の方向性や新ビジネスの可能性を予測する力を鍛えることが目的である。</p>	2
経営学部経営学科 単位数合計					20

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	伊藤 創	GLS105-501	日本事情	本講義では、政治、社会、文化、歴史、宗教、生活習慣、社会問題など様々な側面から、日本を捉えることによって、日本への理解を深めることを目的とする。また、その過程で、今後、日本が、あるいは世界がどのような方向に進んでいくべきかを議論し、論理的かつ柔軟な思考を養う。本授業は、英語と日本語の両方で行う。また時事的な問題を取り込むこと、また留学生の国籍や人数によって、比較すべき項目を柔軟にシフトしながら授業で扱う項目を変更しつつ行っていくので、本シラバスに記載されていない日本の側面を扱うこともある。	2
		JPE101-041	日本語の構造 I	本講義では、普段ほとんど意識した事のないであろう日本語のシステムを、様々な観点から捉え直すことによって、日本語(ひいては言語そのもの)に対する知識を深め、また柔軟で論理的な思考を養うことを目的とする。特に、日本語が話せない外国人の視点から見た日本語とはどのようなものなのか、つまり「外国語としての日本語」の特徴を掴んでいく。	2
		JPE102-541	日本語の構造 II	本講義では「人間の言語」という大きな観点、枠組みから、日本語を捉えることを目的とする。その中で、言語学や音声学、対照言語学といった分野の基礎知識も学び、日本語の理解をより深める。 *「日本語の構造I」では、日本語の文法項目に特に焦点をあてて学ぶのに対して、本科目「日本語の構造 II」では、より大きな「言語」という視点から日本語を捉える。	2
		JPE201-041	日本語教育事情	本講義では以下の項目を学ぶ。■日本語がどのように教えられているのか、あるいは教えられてきたのか、日本語教育の現在の状況と歴史について学ぶ。■現在の日本にいる留学生や外国人労働者がどのような状況にあるのか、その実情と彼らが(ひいては日本が)抱える課題について学ぶ。■上記と関連して、そもそも、どのようにして日本語が今のような形になったのか、その成り立ちや日本語位置づけなどについても学ぶ。	2
	越山 泰子	JPE202-541	日本語コミュニケーション	この授業では、日本語を外国語として効果的に指導するために、日本語を取り巻く社会的言語活動やコミュニケーションの方法について学習します。講義を通して様々な言語研究を参照し、言語使用とコミュニケーションについての基礎知識を用いながらグループワークを通して日本語の特徴について客観的に考え、身近な「日本語らしい」言語現象について解明していきます。	2
		JPE303-041	日本語教授法	この授業では、外国語として日本語を教えるための基礎知識について学びます。日本語の特徴を理解しながら、教案の組み立て方、授業の流れ、教材分析を通して、ことばを効果的に教える方法を学びます。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	越山泰子	JPE304-541	日本語教育の実践と評価	この授業では、日本語教育における実践と評価の方法について学習します。日本語の様々な特徴、評価法における実例を参照しながら、日本語教育の実践と評価に関する基礎知識を養います。	2
	横山雅彦	FLE108-041	英語基礎1	<p>大学教育は、大きく教養課程(1-2年生)と専門課程(3-4年生)に分けられる。本学の国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科における専門課程が、ビジネスコミュニケーション専攻と国際地域文化専攻の2つから成ることはいうまでもないが、いずれに進むのであれ、そこでは、英語を「を」学ぶのではなく、英語「で」学ぶことが求められる。つまり、英語そのもの「を」学ぶのは教養課程までであり、それも「通じればよい」式のブローケン英語ではなく、国際舞台上で立派に通用する知識人(真の意味でのインテリゲンチヤ)の英語を身につけなければならない。この講座は、本学科の教育の根幹を成すもので、その成否はこの講座にかかっているといっても過言ではない。</p> <p>この授業の目的は、「英文法」を理解、習得することである。しかし、ここでいう英文法とは、諸君が想像するような「文法問題のための文法」=「暗記文法」ではなく、高度な4技能習得の前提となる体系的な英文法のことである。いわば、英語の4技能を高度に駆使するためのOSといってもよい。たとえば、1年でTOEIC200-300点台を800-900点台に引き上げることは、決して難しいことではない。しかし、そのためには英文法の構造的な理解という基礎打ち、すなわちOSのインストールが絶対不可欠である。その基礎打ちなく、いくらやみくもにTOEICの問題集をやり、単語を暗記しても、せいぜい600点台で頭打ちとなり、決して700点台の壁を越えることはできない。諸君には、きっと「目からウロコ」の連続であり、この講座が終わる頃には、自分がどれほど強力な武器を手にしたか、身をもって実感することになるだろう。</p>	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	横山雅彦	FLE109-541	英語基礎2	<p>「文明の衝突」といわれるが、冷戦体制が崩壊した現在、世界にはすでにアメリカ文明という名の功利主義思想を中核とする普遍的文明への基礎構造が出来上がっている。われわれが見聞しつつあるさまざまな現実には、少数の例外を除いて、基本的にはこの普遍的文明への諸文化の適応の問題だけである。したがって、いま「世界を考える」ということは、そのまま「アメリカを考える」ということにほかならない。それほど重要な国であるにもかかわらず、実はアメリカを正しく理解している日本人は非常に少ない。</p> <p>アメリカ史は、ヨーロッパ史の一部ではない。西欧文明の基礎をそっくり受け継ぎ、異常なほどの自意識をもって、北米大陸の荒野に一步一步自由の天地を切り開いていったアメリカの歴史は、同じ400年でも、その密度が他の歴史とはまったく違う。この点で、日本の高校世界史の教科書にみられるアメリカ史の扱いは、まだまだ不十分といえる。</p> <p>この授業の目的は、平易な英語で書かれたアメリカ史を読み、正しいアメリカの総合的理解を図ることである。それはそのまま、英語「で」現代世界が抱える諸問題を考えることであり、真の意味での教養英語の実践にほかならない。また、第26回・第27回の授業では、アメリカ学会元会長・本間長世(東京大学名誉教授)の、そして第28回・第29回の講義では、担当教官(横山)の恩師である小浪充(東京外国語大学名誉教授)の、それぞれ英語論文を読む。いずれも、日本におけるアメリカ研究の最先端の知見である。諸君には、知的興奮の連続であろう。</p>	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	横山雅彦	FLE112-041	総合英語 I	<p>この授業の目的は、英語のオーラルコミュニケーション(スピーキング・リスニング)において必須のルールである「英音法」を理解し、習得することである。具体的には、正しく発音記号が読め、自分自身で書けるようになること、そして、英語ネイティブと同じ「英語舌」と「英語口」を作り上げることを目指す。英語の音声をカタカナで表記・説明することは不可能であり、高度な英語のスピーキング・リスニング習得に、発音記号の知識は欠かせない。また、同じ舌と口を持っている以上、英語ネイティブと同じ発音を身につけることは、大変な努力を要するが、誰にでも可能である。正しい英語舌と英語口を形成すれば、その音しか出ようがないからである。</p> <p>授業は、『English Sounds, English Minds—Introduction to the English Sound System 英語音声の基礎と聴解トレーニング』(教科書1.)と『A New Threshold for the TOEIC? Test Listening 発音クリニックからTOEIC?テスト リスニング』(教科書2.)の2冊を交互に使って進められる。主に教科書1.では、発音記号を体系的に学び、教科書2.では、日本人が不得手とする母音や子音等を中心に何度も練習を繰り返し、毎回最後にTOEICのリスニング形式問題にチャレンジする。</p> <p>正しい発音を身につければ、スピーキング力はもちろん、リスニング力も飛躍的に向上する。この授業で学ぶ「英音法」と総合英語 I の「英文法」は、英語コミュニケーション学科での4年間の学びを支える、まさに車の両輪である。諸君の真摯な取り組みを期待する。</p>	2
		FLE113-541	総合英語 II	<p>すべての言語には、その言語特有の「心の習慣」がある。文法は、いわばその「心の習慣」が必要とする統語上の道具立てである。英語話者が無意識にしたがっている「心の習慣」こそ、「三角ロジック」である。この授業では、担当教官(横山)が体系化した「ロジカル・リーディング」の手法をもとに、英語の心である三角ロジックを学び、アカデミック・リーディングの基礎の習得を目指す。</p>	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	横山雅彦	FLE116-741	インテンシブイングリッシュⅠ	<p>本来、「TOEIC英語」など存在しない。英語は英語であって、TOEICのために英語を学ぶのなら、それはまったくの本末転倒である。英検やTOEFL・TOEIC、IELTSなどの資格試験は、あくまで英語学習のベンチマークにすぎない。したがって、正しく英語を学んでいるなら、とくにTOEIC対策などしなくても、高得点がとれるはずなのだが、TOEICには他の試験にはない特徴的な傾向があり、その傾向を知っていることで、得点の効率が上がることもまた事実である。</p> <p>この授業は、TOEIC L&Rに特化して対策を講じる夏期インテンシブイングリッシュの前半にあたる5日間(15回)の集中講義である。後半のインテンシブイングリッシュⅡと合わせ、計30回の講義で600点以上の得点を目指す。とはいえ、それは春学期に培った英文法や英音法の土台があってはじめて可能となるのであり、そうした基礎をないがしろにしたまま、30回の講義でスコアをアップさせる魔法のようなテクニックがあるわけではない。逆に、春学期に真剣に授業に取り組んだ者は、この10日間で驚くほど(場合によっては700-800点台に)スコアをアップさせることができるだろう。</p> <p>* インテンシブイングリッシュⅠ(E)・Ⅱ(E)とも、国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科1年は必修である。必ず全員が履修すること。</p>	1
		FLE117-741	インテンシブイングリッシュⅡ	<p>この授業は、TOEIC L&Rに特化して対策を講じる夏期インテンシブイングリッシュの後半にあたる5日間(15回)の集中講義である。インテンシブイングリッシュⅠで学んだTOEICへのアプローチをもとに、TOEICテスト公式問題集による実戦形式での演習(計5回分)を行う。最終講で模擬テスト(計100題)を実施、現状でのスコアを換算する。受講にあたっては、春学期の英文法および英音法はもちろん、インテンシブイングリッシュⅠの復習が必須である。</p> <p>* インテンシブイングリッシュⅠ(E)・Ⅱ(E)とも、国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科1年は、必ず全員が履修すること。</p>	1
		FLE118-841	インテンシブイングリッシュⅢ	<p>TOEIC L&R800点突破を目指し、春学期に学んだ英文法と英音法、秋学期に学んだ三角ロジックと語法、そして夏期のインテンシブイングリッシュで学んだTOEICの各Partの解法を確認、総仕上げを図る。</p> <p>* 国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科1年は必修である。必ず全員が履修すること。</p>	1

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科	村田昌彦、田中綾子、松田宣子、横川滋章	NSC202-001	地域防災減災論	<p>本授業では、今後ますます頻発し巨大化する各種災害をたくましく生き抜くために必要となる災害に対する基礎的な知識、災害への備え、災害発生時の対応などについて体系的に学習する。</p> <p>さらに、履修者には、全国的に認知されている「防災士」の資格試験の受験機会を提供し、履修者全員が「防災士」の資格取得を目指す<防災士教本、防災士試験受験料、防災士登録料の一部は、協力企業からの寄付金により補填する予定。学生負担額=3,000円>。</p>	2
	片山真理	EDE202-541	英語科教育法Ⅱ	<p>四技能および発音、文法、語彙などの指導法に関する従来型の問題点を指摘し、これを改善するための指導法について、グループでの議論(内容によって日本語または英語)を通して考えます。</p>	2
		EDE203-041	英語科教育法Ⅲ	<p>This course is for those who are seeking for teaching job after graduation. This course examines successful foreign language education; how foreign languages are taught and learned in the world. Various teaching methods which have been used around the world.</p> <p>本科目は、将来教職に就く人を対象とする。日本国内外での外国語教育(特に英語教育)の状況や指導法について学び、指導計画・授業計画の立て方などについて学ぶ。</p>	2
国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科 単位数合計					31

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
人間科学部経営学科	河内山潔、本田あけみ	BRI201-041	セレモニー産業論	<p>従来、冠婚葬祭は個人・家族・地域のイベントとして催されてきた。近年の日本社会においては、冠婚葬祭の社会的意義の変化とともに、サービス産業としてのセレモニー産業が活性化している。</p> <p>この授業の奇数回(月曜日)では、日本社会における冠婚葬祭の社会的意義について明らかにしていくとともに、現在のセレモニー産業の成立の背景、各企業の事業内容および今後の展開等について考察を行い、セレモニー産業を様々な視点で理解できるようにする。</p> <p>偶数回(水曜日)では、セレモニー産業の中でビューティの各専門的な技術を紹介し、冠婚葬祭等各セレモニーにおけるビューティビジネスの可能性をはかる。</p>	4
	坂上英彦	BSS202-001	コミュニティビジネス	<p>コミュニティビジネスは、地域資源を生かしながら地域課題の解決を「ビジネス」の手法で取り組むもので、国内だけでなく世界中で発展していく可能性があり、経営モデルのひとつとして理解するとともに具体的なイメージを持つことを目的とする。</p> <p>本授業は、地域の人材やノウハウ、施設、資金を活用することにより、地域における新たな創業や雇用の創出、働きがい、生きがいを生み出し、地域コミュニティや地域産業の活性化に寄与し、少子高齢化、過疎化、地域産業の衰退など複雑で多様な課題を解決できることを学びます。</p>	2
		INT106-804	業界研究実習	<p>本実習は、企業訪問実習を通じて、業界研究を行う。</p> <p>①各コースの訪問先・研修先企業等の業務内容とありかたを、自分なりにまとめる</p> <p>②実社会の体験、業界の仕組み、仕事内容を頭と体で理解する。</p> <p>③自分の適性にあった職業か判断できるようにする。</p> <p>業界研究実習は2年次から具体化する専門分野の一部を実体験し、その分野が自分に向いているかについて、体験をすることにより考える機会とする。</p>	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
人間科学部経営学科	坂上英彦	MNG206-001	地域マネジメント	<p>全国の地域は、少子高齢化による人口減少、首都圏への一極集中などにより、地域の安全・安心はもとより、存続そのものが危機にさらされています。この問題を解決するために地域住民が真の豊かで暮らしていけるよう、従来の考え方や習慣、体制にとらわれないイノベーションの発想をもとに、市民、企業、行政などの関係者が主体的に協働して実践していくあり方が重要となっています。</p> <p>本科目では、地域の問題と課題を理解しながら、具体的な地域マネジメントの事例から地域づくりに対する基本的な考え方はもとより、三木市をケースにした活性化策について、地域資源の現状評価、テーマの発見、計画へのプロセスをグループワークにより体験し、異なる意見をまとめてコンピューターによる提案、プレゼンテーションまでのスキルの獲得を目指します。将来的に、地域の安全・安心、地域づくり、地域社会の分野で活躍する際に有望な学修となります。</p>	4
		REG201-501	公共サービス論	<p>本授業は、公共サービスによる地方創生をあり方を学ぶことを目的にしている。地方創生に万能の成功の方程式は、人口減少や高齢化が進む地方において、地域を変える力を探るなどの地域ごとに特別の解決策を探ることにある。地方創生は、先ず本気、情熱、やる気を持つ「五感六育」のプロジェクトに取り組むことを考えてみよう。五感による分析を通して、地域の強み弱みを徹底的に洗い出しをし、次に、地域ニーズを踏まえた六育プロジェクト展開を図ることを学びましょう。同時に官民の「地域創生リーダー・プロデューサー人財」を養成することが肝心出ることに気づきましょう。</p>	4
	村田昌彦	GLB302-501	国際防災協力	<p>大災害発生時には、海外からの被災地支援が必要となる。</p> <p>本授業では、国際的な災害支援の枠組みやシステム、さらに、わが国の具体的な国際支援や受援の実績などについて、実際に国際防災協力関係の仕事を行っている実務家を授業に呼び、実体験に基づく話を聞き、国際防災協力について体系的に学ぶ。</p>	2
		REG306-501	防災教育	<p>【本授業では、企業防災を行うための防災教育を主眼とする】</p> <p>大災害において企業に対する被害を最小限にとどめ、企業活動を迅速に再開し、企業を存続させるために必用となる、災害への備え、災害後の対応についての知識や対処法を、過去の災害における企業対応の成功・失敗事例などから学ぶ。</p>	2
	村田昌彦、川脇康生、田中綾子、林万平	REG401-001	復興論	<p>大災害は、被災地の将来にとって、より強靱でしなやかな地域に再生していく一つの機会となる。このことから、阪神・淡路大震災で目指した創造的復興や、東日本大震災の復興を進めている日本の復興体制、さらに国際的にハイライトされたよりよい復興(Build Back Better)のコンセプトについて学び、グローバルな視点で復興のあるべき姿について学修する。</p>	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
人間科学部経営学科	村田昌彦、田中綾子	REG305-501	コミュニティ防災	大災害に際してきわめて重要となる自助・共助について、実際の災害事例などを通じて理解し、地域コミュニティの一員として災害に事前に備え、災害発生時には迅速的確な対応を、自ら率先して行える力を身につける。	2
	村田昌彦、田中綾子、松田宣子、横川滋章	NSC202-001	地域防災減災論	本授業では、今後ますます頻発し巨大化する各種災害をたくましく生き抜くために必要となる災害に対する基礎的な知識、災害への備え、災害発生時の対応などについて体系的に学習する。 さらに、履修者には、全国的に認知されている「防災士」の資格試験の受験機会を提供し、履修者全員が「防災士」の資格取得を目指す<防災士教本、防災士試験受験料、防災士登録料の一部は、協力企業からの寄付金により補填する予定。学生負担額=3,000円>。	2
	村田昌彦、田中綾子、中山誠、横川滋章	MNG305-001	セーフティマネジメント論	具体的な各種の危機事案対応などを通じて、「防災入門」で学んだ防災・減災についての体系的な知識をさらに深め、災害をイメージする力をより高めることにより、様々な危機に対する事前対策、予防、対応など、社会のいかなる分野においても有効となる安全・安心を担保する力を身につける。	2
	李容淑	TOU203-541	観光産業特論	世界では「観光」は21世紀の最大の産業であると言われている。観光産業は裾野が広く、多くの業種・業界に渡って経済波及の効果を持つ産業である。特に現代社会における観光産業は、無公害産業、世界最大の雇用産業として脚光を浴び、観光が国際経済に与える影響力が大きくなっている。 世界各国は観光産業を国家戦略産業として育成し、競争優位性を先取りするために熾烈な競争を繰り広げている。世界中が経済不況で喘いでいる中でも観光産業は、持続的な成長を見せて、グローバル時代の無限の成長産業として注目されている。 その観光産業において日本は訪日観光客を誘致するために、常に新しい政策を発表している。2003年VISIT JAPAN・キャンペーンを始め、訪日外国人観光客数が2016年には2404万人を超え、2020年オリンピック・パラリンピックには4,000万人を目指している。 この講義ではインバウンド観光は日本政府が主導する日本の未来を支える重要国家産業として専門家育成戦略に従いまして『インバウンド主任者実務認定試験』を目指して徹底的な授業を実施します。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
人間科学部経営学科	李容淑	TOU204-041	インバウンドツーリズム産業論	<p>インバウンドツーリズムとは何か、日本経済におけるインバウンドツーリズムの重要性を理解し、インバウンドツーリズム産業全体を経営学視点において把握をする。インバウンドツーリズムは、成長著しいアジアをはじめとする世界の需要を取り込むことによって、人口減少・少子高齢化が進展する日本において、交流人口の拡大によって地域の活力を維持し、社会を発展させることに大きく貢献する。また、インバウンドツーリズム産業の核となる旅行業、宿泊業、輸送業、航空・空港業、お土産販売業、フードビジネス業等について、マクロ視点から、それぞれの業界の特徴と問題点の考察した上で、個々の企業をミクロ的な問題をとりあげ、その企業経営のあり方や、将来展望を模索するものとする。インバウンド観光産業は毎年成長し、2018年には訪日外国人旅行客が3,119万人を突破し、消費額は4兆6千億円にも到達して、毎年最高記録を立てている。特に2020年、東京オリンピックを越え関西地域には、2025年の世界万博の開催と2024年IR大阪地域に誘致する計画を控えている。このような視点から専門家を必要とする絶好の機会が目の前にある。それに従って本授業では観光専門家を排出させるために「インバウンド実務主任者認定試験」の合格に向かって徹底的に教育することとインバウンド観光の専門知識を学ぶことを目的とある。</p>	4
		TOU206-541	アジア文化論	<p>文化は人々が一定の時代と場所で集団で生きていく中で発生した生活様式や考え方である。すなわち、衣・食・住、言語、宗教、知識、芸術、制度など民族や社会の全体的な生活の様子を指す非常に包括的な概念である。</p> <p>文化は、世界の領域に拡張されて多様化と融合の過程に進んでいる。世界の文化と経済圏の区域を、米国圏、ヨーロッパ圏、アジア圏に分けて見ると、第二次世界大戦と産業革命の過程を経て、アジアの文化環境も急速な変化を経ている。近代のアジア地域の環境の変化は、アジア諸国の政治構造、経済とさらに文化の発展を遂げたことによる変化が目撃されている。最近では、中国を含む中華圏のアジア文化が大きな影響力を持っている。したがって、近隣国家とは競争や対立関係ではなく、更に緊密なパートナーの役割を強化することができるよう、互いに良好な関係を形成することが重要である。特に、IT情報産業が急速に発展して日本、中国、韓国、台湾では華流、韓流、日流と呼ばれる新しい文化が共存、生成されており、アジアの文化の力を示している。したがって現在、世界ではアジア人は少数民族ではなく、生産と消費の主流となる世界人として環境が形成されている。この授業を通じて、変化する最近のアジアを理解し、日本の未来の方向性や新ビジネスの可能性を予測する力を鍛えることが目的である。</p>	2
人間科学部経営学科 単位数合計					36

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
教育学部英語コミュニケーション学科	伊藤 創	JPE101-041	日本語の構造 I	本講義では、普段ほとんど意識した事のないであろう日本語のシステムを、様々な観点から捉え直すことによって、日本語(ひいては言語そのもの)に対する知識を深め、また柔軟で論理的な思考を養うことを目的とする。特に、日本語が話せない外国人の視点から見た日本語とはどのようなものなのか、つまり「外国語としての日本語」の特徴を掴んでいく。	2
		JPE102-541	日本語の構造 II	本講義では「人間の言語」という大きな観点、枠組みから、日本語を捉えることを目的とする。その中で、言語学や音声学、対照言語学といった分野の基礎知識も学び、日本語の理解をより深める。 *「日本語の構造I」では、日本語の文法項目に特に焦点をあてて学ぶのに対して、本科目「日本語の構造 II」では、より大きな「言語」という視点から日本語を捉える。	2
		JPE201-041	日本語教育事情	本講義では以下の項目を学ぶ。■日本語がどのように教えられているのか、あるいは教えられてきたのか、日本語教育の現在の状況と歴史について学ぶ。■現在の日本にいる留学生や外国人労働者がどのような状況にあるのか、その実情と彼らが(ひいては日本が)抱える課題について学ぶ。■上記と関連して、そもそも、どのようにして日本語が今のこのような形になったのか、その成り立ちや日本語位置づけなどについても学ぶ。	2
	越山 泰子	JPE202-541	日本語コミュニケーション	この授業では、日本語を外国語として効果的に指導するために、日本語を取り巻く社会的言語活動やコミュニケーションの方法について学習します。講義を通して様々な言語研究を参照し、言語使用とコミュニケーションについての基礎知識を用いながらグループワークを通して日本語の特徴について客観的に考え、身近な「日本語らしい」言語現象について解明していきます。	2
		JPE303-041	日本語教授法	この授業では、外国語として日本語を教えるための基礎知識について学びます。日本語の特徴を理解しながら、教案の組み立て方、授業の流れ、教材分析を通して、ことばを効果的に教える方法を学びます。	2
		JPE304-541	日本語教育の実践と評価	この授業では、日本語教育における実践と評価の方法について学習します。日本語の様々な特徴、評価法における実例を参照しながら、日本語教育の実践と評価に関する基礎知識を養います。	2
		SVL202-042	教育サービスラーニング II	このクラスでは、日本語を外国語として教える知識や教え方について学び、地域で日本語を学ぶ外国人の日本語学習支援を行う。授業や活動を通して、異文化への理解や地域社会への貢献についての学びを深める。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
教育学部英語コミュニケーション学科	横山雅彦	WRT202-041	ライティングⅢC	この授業の目的は、秋学期から始まるパラグラフ・ライティング、さらにその先にあるアカデミック・ライティングに備えて、1文単位の英作文を完成させることである。そのために、英語の基本文法を総復習し、それに基づく作文のアウトプット演習を徹底的に行う。	2
		WRT204-541	ライティングⅢD	すべての言語には、その言語特有の「心の習慣」がある。文法は、いわばその「心の習慣」が必要とする統語上の道具立てである。英語話者が無意識にしたがっている「心の習慣」こそ、「三角ロジック」である。この授業では、担当教官(横山)が体系化した「ロジカル・リーディング」の手法をもとに、英語の心である三角ロジックを学び、その習得とアカデミック・ライティングへの応用を目指す。	2
	村田昌彦	REG306-501	防災教育	【本授業では、企業防災を行うための防災教育を主眼とする】 大災害において企業に対する被害を最小限にとどめ、企業活動を迅速に再開し、企業を存続させるために必用となる、災害への備え、災害後の対応についての知識や対処法を、過去の災害における企業対応の成功・失敗事例などから学ぶ。	2
	村田昌彦、川脇康生、田中綾子、林万平	REG401-001	復興論	大災害は、被災地の将来にとって、より強靱でしなやかな地域に再生していく一つの機会となる。このことから、阪神・淡路大震災で目指した創造的復興や、東日本大震災の復興を進めている日本の復興体制、さらに国際的にハイライトされたよりよい復興(Build Back Better)のコンセプトについて学び、グローバルな視点で復興のあるべき姿について学修する。	2
	村田昌彦、田中綾子	REG305-501	コミュニティ防災	大災害に際してきわめて重要となる自助・共助について、実際の災害事例などを通じて理解し、地域コミュニティの一員として災害に事前に備え、災害発生時には迅速的確な対応を、自ら率先して行える力を身につける。	2
	村田昌彦、田中綾子、松田宣子、横川滋章	NSC202-001	地域防災減災論	本授業では、今後ますます頻発し巨大化する各種災害をたくましく生き抜くために必要となる災害に対する基礎的な知識、災害への備え、災害発生時の対応などについて体系的に学習する。 さらに、履修者には、全国的に認知されている「防災士」の資格試験の受験機会を提供し、履修者全員が「防災士」の資格取得を目指す<防災士教本、防災士試験受験料、防災士登録料の一部は、協力企業からの寄付金により補填する予定。学生負担額=3,000円>。	2
	村田昌彦、田中綾子、中山誠、横川滋章	MNG305-001	セーフティマネジメント論	具体的な各種の危機事案対応などを通じて、「防災入門」で学んだ防災・減災についての体系的な知識をさらに深め、災害をイメージする力をより高めることにより、様々な危機に対する事前対策、予防、対応など、社会のいかなる分野においても有効となる安全・安心を担保する力を身につける。	2
	片山真理	EDE202-541	英語科教育法Ⅱ	四技能および発音、文法、語彙などの指導法に関する従来型の問題点を指摘し、これを改善するための指導法について、グループでの議論(内容によって日本語または英語)を通して考えます。	2

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学部学科等	4.授業担当教員	授業コード	科目名	17.授業の目的と概要	単位
教育学部英語コミュニケーション学科	片山真理	EDE203-041	英語科教育法Ⅲ	<p>This course is for those who are seeking for teaching job after graduation. This course examines successful foreign language education; how foreign languages are taught and learned in the world. Various teaching methods which have been used around the world.</p> <p>本科目は、将来教職に就く人を対象とする。日本国内外での外国語教育(特に英語教育)の状況や指導法について学び、指導計画・授業計画の立て方などについて学ぶ。</p>	2
教育学部英語コミュニケーション学科 単位数合計					32
					286